

## 初年次ゼミナール文科の履修について

初年次ゼミナール文科はクラス指定の必修科目であり、以下の共通目標が定められている。

大学では「問い」の「答え」を探求する前にまず「問い」自体を自分で見つける必要があるという点を理解し、学ぶ姿勢の根本的な転換を目指す。授業を通じて「問い」の立て方、「理論」についての考え方、「研究方法」の設定の仕方、学術資料の収集の仕方、議論の根拠の導き方、論述の組み立て方などのアカデミックスキルに触れ、それらを習得する。また、自分が取り組む「問い」が学術的・社会的に意義のある「問い」であることを主張する必要性を理解する。

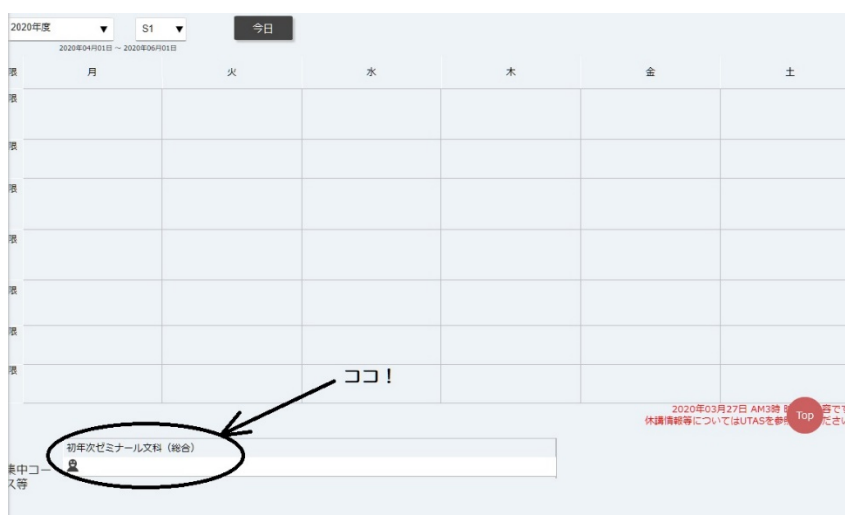
「問い」の「答え」を導くに当たって必要な、先行研究の理解とオリジナリティの主張の方法（剽窃の防止を含む）、議論と根拠の関係などといったより基礎的な作法および図書館などの研究リソースの利用方法を、第2回目の合同授業で学ぶ。

クラスごとに指定されたグループ（各2曜限）に開講されている授業のうち、1授業を選択して受講する。希望が集中した場合は抽選となる。教務課のホームページ（<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html>）に掲載される「【重要】履修登録について」の該当箇所にしたがって、登録期間内に必ず履修希望登録を行うこと。なお、履修希望は必ず第8希望まで登録すること。なお、初年次ゼミナール文科の抽選結果は、抽選で履修が決まる総合科目（英語中級等）の抽選結果より優先される。同じ曜限に他の授業と重複して当選した場合は、初年次ゼミナール文科以外の科目の履修は取り消されるので注意すること。

文科の2年生で初年次ゼミナール文科の単位を未取得の者は、科目登録方法が通常他クラス聴講等の手続きとは異なるので、同じく「【重要】履修登録について」を注意して読んでおくこと。

**第1週は、すべての初年次ゼミナール文科の授業を休講とする。**指定グループに属する授業のシラバス（今後とも随時更新される可能性あり）を読み、UTASで抽選登録すること。

**第2週は、ITC-LMSを介してアカデミックマナーおよびアカデミックスキルに関するレクチャーと情報検索実習を行う。**ITC-LMSにログインした後、時間割の下に表示される「集中コース等」の中にある「初年次ゼミナール文科（総合）」コースにレクチャー動画へのリンクと課題が掲載される。



動画へのアクセス集中を避けるため、クラスごとに決められた動画視聴・課題提出時期を守るようにしてほしい。動画視聴と課題提出をもって、2週目の授業に「出席した」とみなす。なお、ITC-LMSの「初年次ゼミナール文科（総合）」のコースには4月3日頃からアクセス可能となる。

**第3週からは、少人数に分かれたクラスで授業が行われる。**UTASにて決定された履修授業を確認し、その授業のシラバスをUTASで必ず確認すること。また別途情報が掲載されているかもしれないので、ITC-LMSの履

修する授業のコースと、「初年次ゼミナール文科（総合）」コースの「お知らせ」を確認しておくこと。

この授業の共通教材として『読む、書く、考える－東京大学 初年次ゼミナール文科 共通テキスト』が全員に配布される。2020年度は、4月13日までにオンライン版をITC-LMSから閲覧できるようにし、冊子版は対面授業が一斉に行える状況になってから配布する。冊子版テキストの配布場所・方法については、あらためてITC-LMS「初年次ゼミナール文科（総合）」コースで告知する。

この授業に関する授業外サポートとして、大学院生が学習相談に応じる「ラーニングコモンズ」をオンラインで開く。開室時間や利用方法等については、ITC-LMSの「初年次ゼミナール文科（総合）」コースで通知する。

クラスごとの指定グループは下表のとおりである。

グループ名	開講曜限	対象クラス
グループ1	月4・水4	1年文一・二(4,6-7,28), 文三(4,16,18)
グループ2	火1・木2	1年文一・二(10,19,26-27), 文三(7,9,13)
グループ3	火3・木3	1年文一・二(8,12,14,17), 文三(10,12,14)
グループ4	火4・金1	1年文一・二(1-3,5,11,15-16,22), 文三(1-3,11,15)
グループ5	水2・金3	1年文一・二(13,21,24-25), 文三(5,8,20)
グループ6	水3・金4	1年文一・二(9,18,20,23), 文三(6,17,19)